

<b>6月 モニターレポート</b>		担当出張所	高槻出張所
担当区間	淀川中流右岸 神崎川分派点（一津屋樋門）～三島江河川公園(右岸 16.0～23.0k)		
モニター実施日時	令和2年6月9日(火) 10時00分～12時10分		
天 候	晴れ		

淀川中流右岸 神崎川分派点（一津屋樋門）～三島江河川公園(右岸 16.0～23.0k)をモニター

大阪に続き全国の非常事態宣言が解除され、多く見られた子供連れやサイクリングをする姿は見られず静かな以前の河川公園に戻っていた。別の日曜日に近隣地区に行くとサッカーや野球グラウンドで試合が行われているようで、応援する多くの父兄の姿があり、マスク姿が多く見れる以外は以前の姿に戻っていた。



野鳥の様子は、大きな声でオオヨシキリが鳴き夏の訪れを感じさせた。ほかにヒバリ・セッカもよく鳴いていた。



ムクドリ



ヒバリ



スズメ

春に発生していた蝶は夏型への移行期に当たりほとんど姿を見ることはなく、ほかの昆虫も少なくなかったが草叢には微小な昆虫の姿が見られ、秋の虫たちの幼生も多く見られた。



サビカミキリの仲間



チビタマムシの仲間



ゾウムシの仲間



ラミーカミキリ



ハムシの仲間

バッタの幼生 キリギリスの仲間秋になるとよく鳴いてくれる



このほかに昆虫を狙うクモの仲間やカメムシ、ハバチのサナギ、オトシブミの揺籃、ハエの仲間が見られた。

(意見・感想・処置等)

6月のレポートありがとうございます。

夏の昆虫が沢山見られる時期になってきました。形や色、模様も様々で、観察するのが楽しくなりますよね。なぜこんな容姿になるのか不思議でいっぱいです。ラミーカミキリは、背中側から見た時、胸にある2つの黒い紋が、直立したパンダのように見えるということで、人気者らしいです。見ているだけで楽しくなります。淀川の河川敷は貴重な自然であることを改めて実感します。

それでは今回で最後のレポートとなりますが、河川敷での人々の様子や動植物など、沢山の写真を撮っていただきありがとうございました。動植物の生き生きとした姿が淀川の自然が守られている証だと思います。1年間ありがとうございました。